

鹿児島県漁海況週報

平成30年6月28日発行(6月21日～6月27日)
第2761報【旧暦:5月8日～5月14日/月齢7.3～13.3/潮汐:小潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

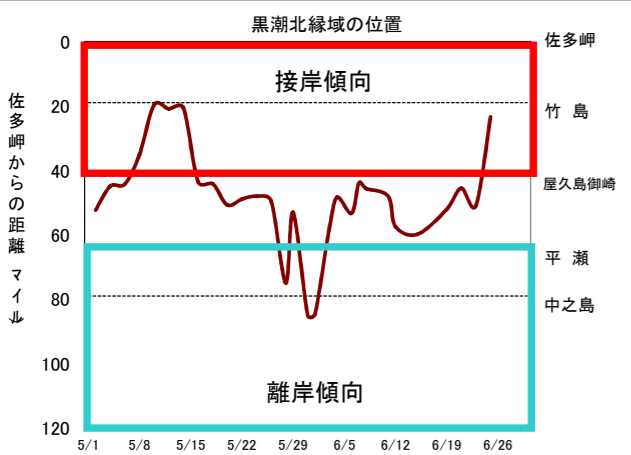
黒潮北縁域は、6月25日現在、竹島の南4.47マイル付近にあり、接岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、6月26日現在、35マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、佐多岬、屋久島御崎、甌海峡で0.3～1.9℃昇温し、その他の海域で0.4～2.6℃降温した。平年比較では甌海峡で“かなり高め”、笠利崎で“やや低め”、黒潮流域、中之島で“かなり低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	26.5	-1.9	-1.1	かなり低め
鹿児島	24.4	+0.3	+0.1	平年並
佐多岬	24.2	+0.3	-0.0	平年並
竹島	25.1	-0.7	+0.2	平年並
屋久島御崎	26.1	+0.5	+0.4	平年並
中之島	25.7	-2.6	-1.2	かなり低め
笠利崎	25.8	-0.4	-0.8	やや低め
与路島	26.1	-	-	-
与論	26.9	-	-	-
甌海峡	25.4	+1.9	+1.5	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は6/25-26(システム不具合のため)
串木野一甌定期客船観測は6/27

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でハガツオ(1.5～2.5kg)が1.7トン、マルソウダ(500g)が600kg、ゴマサハ(500～800g)が420kgの入網。西薩南部海域では、マルソウダ(500g)が3～5トン/統・日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ゴマサハ(500～700g)が1.8～2.2トン/日、ハガツオ(1.7kg)が350～900kg/日、1日のみマルソウダ(250g)が6トン、マアジ(120g)が1.5トンの入網。鹿児島湾口部大隅半島側ではマルソウダ(200～400g)が4.5～10トン/日、アカマス(200～400g)が105～350kg/日、ハガツオ(1～1.5kg)が56～75尾/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で42統がマアジ小、マアジ豆、ウルメイワシ主体に66トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマアジ、カタクチイワシ、ニハチ類主体に21.3トンの入網。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみセトビを10,000尾/統の漁。屋久島海域では、セトビを75～93箱/統・日、中トビを5～18箱/統・日、青トビを6～13箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

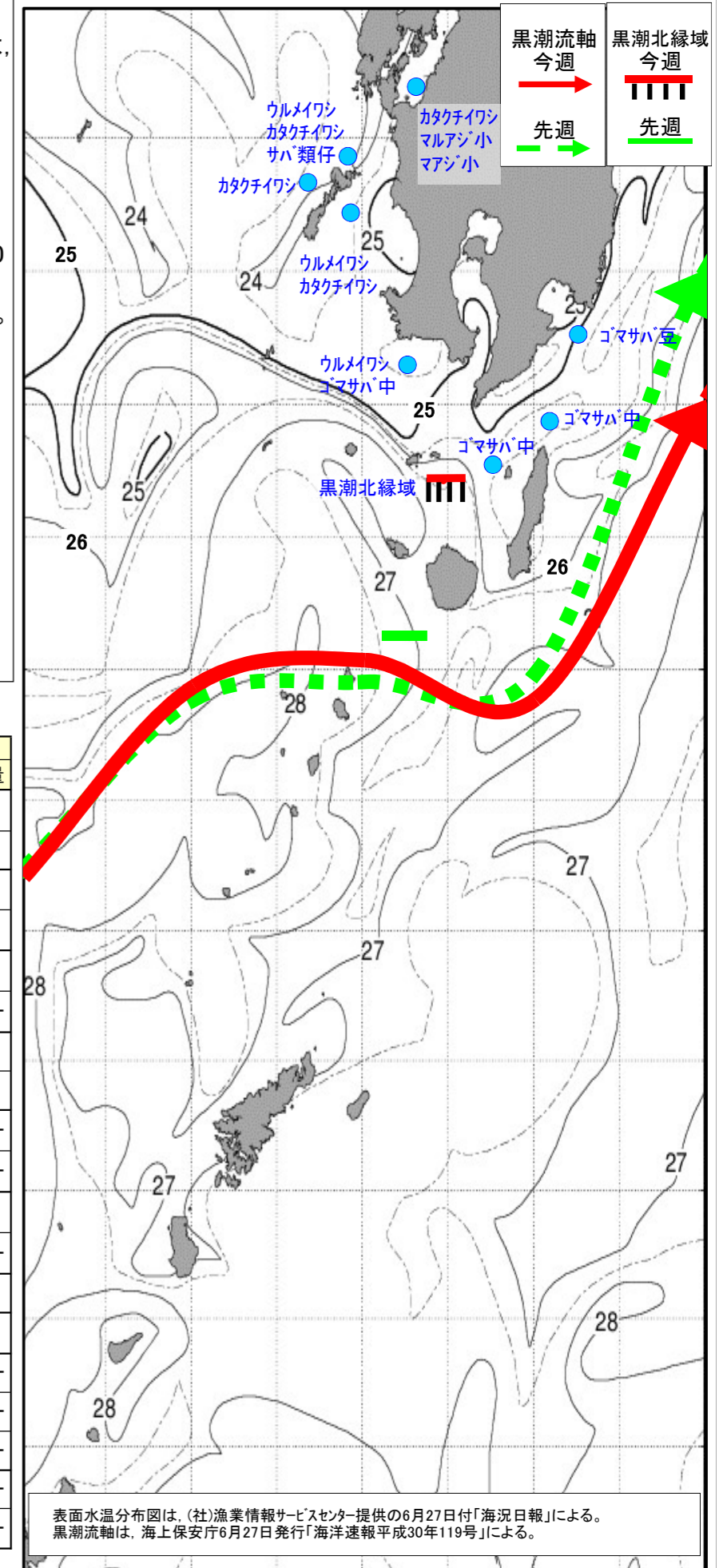
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	※前年同期(第2707報)				
							前週	前年同期	前週	前年同期	
旋網	阿久根	大	4	40	甌東 縄瀬	ウルメイワシ46 カタクチイワシ41 サハ類仔8	10.1	6	87	2	76
		中	16	118	長島 甌西 縄瀬	カタクチイワシ71 マアジ小5 マアジ小4	7.4	20	199	18	85
	枕崎	大	4	117	種子島北 馬毛島 志布志沖	ゴマサハ中87 ゴマサハ豆13	29.3	4	317	5	263
		中	8	274	種子島北 馬毛島 枕崎沖	ゴマサハ中96 ウルメイワシ3	34.3	13	558	7	112
	内之浦	中	0	—			—	0	—	1	5
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	8	157			19.7	10	404	7	339	
	中	24	392			16.3	33	757	26	203	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	1	32	0	—	
棒受網	阿久根	79	58	阿久根沖 長島	ウルメイワシ52 カタクチイワシ43	0.7	74	87	60	92	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	42	66		マアジ小44 マアジ豆31 ウルメイワシ6	1.6	39	73	45	45	
刺網	阿久根	74	8	甌 阿久根沖 長島 牛深沖	キビナゴ100	0.1	93	15	137	26	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—			—	0	—	0	—
		海旋	0	—			—	2	1499	0	—
	山川	中	0	—			—	1	10	0	—
		海旋	0	—			—	2	1499	0	—

○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～7箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、10～30箱/隻・日の漁。

○その他

西薩海域では、かごでシロサバフグ(200～300g)を200～250kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(0.8～1kg)を10～30kg/隻・日の漁。刺網でマルアジ(200～300g)を30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナガエビを50～150kg/隻・日の漁。一本釣りでゴマサハ(500～800g)を20～30尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでゴマサハ(500～600g)を50kg/隻・日の漁。潜水器でトサカリを3.5～4.5トン/日の漁。志布志湾海域では、底曳網でカワリ(50～100g)を30～40kg/隻・日、キダイ(200～300g)を20～30kg/隻・日、ハモ(600～700g)を10～20kg/隻・日の漁。刺網でアカウシシタ(400～500g)を40～50kg/隻・日の漁。熊毛海域では、曳縄でハガツオ(2kg)を80～100kg/隻・日の漁。一本釣りでゴマサハ(500～600g)を40尾/隻・日、アオダイ(500～600g)を50～60kg/隻・日、ヒメダイ(500～600g)を30～40kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の2日操業でキンメダイ(1kg)を200kg/隻、マダイ(5kg)を100kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でチウオ(2kg)を15～80kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月27日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁6月27日発行「海洋速報平成30年119号」による。